

BASIC GOAL

01



基本目標 1

子育てにやさしく、
生きる力と郷土愛を養うまちづくり

Creating a child-friendly city that nurtures life skills and a love for the local community.



子育て支援の充実

子育てにやさしく、生きる力と郷土愛を養うまちづくり

現 状	課 題
子育て支援体制の充実 ● こども家庭センターを設置して、妊娠・出産・子育て期に応じた母子保健や児童福祉に関する身近な子育て支援や相談体制が整備されています。	● こども家庭センターでの相談体制の更なる充実や、子育て支援情報の発信力が課題であり、利用者への周知強化が求められます。
母子保健事業の充実 ● 母子手帳、乳幼児健診、予防接種、産後ケア等を通じて、妊娠期から子育て期まで母子の健康を支える体制を整えています。	● 母子保健事業の拡充やICTの活用が不十分で、利用者の利便性の向上と普及が求められます。
ひとり親や貧困家庭への支援 ● ひとり親家庭の親に対して教育訓練講座の受講費用の助成や資格を取得する際の生活費の一部を支援し、自立に向けた支援を行っています。また、令和7年10月より離婚時の養育費の不払いに対応するための補助金を交付して、ひとり親家庭の自立を支援しています。	● ひとり親家庭の自立につながる給付金の申請数は年度によってまちまちであり、支援が必要なひとり親家庭への情報発信が必要です。 ● 外国人のひとり親家庭との意思疎通が課題となっています。
子育て環境と公園の整備 ● 各地域子育て支援センターなどを気軽に利用してもらうことで、保護者同士の交流の場や育児相談の場を提供しています。	● 公園の老朽化や整備計画の不足により、施設の利便性や安全性の確保が課題となっています。
保護者への経済的・精神的な支援 ● こども医療費の無償化やマイホーム取得支援、結婚新生活支援、子育て見守りおむつの定期便などを実施して、若年層や子育て世帯を後押ししています。	● 孤立した子育てにならないよう、交流の場の提供や育児相談など家庭との関係構築が求められます。



今後の取組	指標	
● こども家庭センターを中心に、妊娠・出産・子育ての各段階で切れ目ない相談支援を行い、子育て支援の情報発信体制を強化します。	こども家庭センター相談件数（件）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	1,537	2,000
● 妊娠・出産・子育て期を通じた健康支援を充実させます。また、ICT化を進めて市民の利便性の向上を図ります。	乳幼児健診受診率（％）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	98.9	100.0
● 支援が必要なひとり親家庭の親に対して、自立を推進する事業の周知を行い、自立を支援します。	児童扶養手当受給者数に占める 高等技能訓練促進給付金事業等の 利用者の割合（％）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	1.2	3.0
● 既存施設の改修やインクルーシブ遊具等の導入を検討し、安全で誰もが楽しめる子育て環境の拡充を図ります。	公園の既存設備の改修箇所数（箇所）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	1	3
● 医療費助成や住まい支援、結婚支援を継続し、改善を行いながら、安心して子育てできる経済的環境を整えます。	子育て見守りおむつの 定期便利用率（％）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	86.0	100.0

5年後に目指す姿

妊娠・出産から子育て期まで切れ目なく支援が行き届き、安心して子育てができる環境を整えます。すべてのこどもが健やかに成長し、市民全員が喜びや充実感をもって子育てできる社会を実現します。

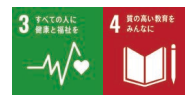
1-2

BASIC GOAL 1

教育環境の整備

子育てにやさしく、生きる力と郷土愛を養うまちづくり

現 状	課 題
多様な教育機会の創出 ● 学校や地域、関係機関等が連携して一人ひとりのニーズに応じた教育の充実を図っています。	● 多様なニーズに応じた指導体制の強化と、各教育機関の連携による切れ目ない支援が求められています。
地域と連携した学習支援 ● 寺子屋などで地域人材を活かして学習習慣を身につけ、こどもと地域住民の交流を深める学びの場が形成されています。	● 寺子屋などの活動に参加する支援員の確保や地域住民の継続的参画が課題となっています。
ICT活用の推進 ● 文部科学省のGIGAスクール構想に基づき、タブレット端末や通信環境を整備し、同時双方向授業やオンデマンド授業など多様な学びの形を可能にしています。	● 学校のICT環境は更新時期であり、最新のデジタル教材の導入や教員の研修など、継続的な更新と効果的な活用が必要です。
新たな施設や体制の整備 ● 教育施設の老朽化が進行し、個別施設計画に基づく改修や長寿命化の検討が進められています。また、小・中学校のあり方検討委員会による検討を行っており、浮羽町域の小中学校の再配置について検討しています。	● 校舎や体育館、給食施設の改修や維持管理については、財源を含めて計画的な整備が必要です。



今後の取組	指標	
● 個別の支援計画や支援員を配置しながら、全てのこどもに応じた教育機会の提供を充実させます。	児童生徒に応じた多様な教育を実施する小中学校の割合（％）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	100.0	100.0
● 地域人材の活用と支援員確保を進め、学習習慣の定着と地域とこどもの交流拡大を図ります。	寺子屋支援員数（人）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	36	36
● ICT機器の更新やデジタル教材の活用研修を充実させ、児童生徒の学びの質向上と教職員の働き方改革を進めます。	「画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる」と回答した児童生徒の割合（％）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	小 94.6% 中 92.4%	小・中 100.0%
● 個別施設計画の見直しとともに、校舎や体育館、給食施設等の改修や学校施設の再配置、屋内運動場の空調等について検討を進め、安全で快適な教育環境を整えます。	計画的に改修を実施した学校数（校）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	0	4

5年後に目指す姿

地域の人材を活かし、こどもたち一人ひとりが主体的に学べる教育環境を整えます。誰一人取り残さず学ぶ力を育むとともに、郷土愛や国際性を育て、安全・安心に学べる学校環境を確保します。

生涯学習の推進

子育てにやさしく、生きる力と郷土愛を養うまちづくり

現 状	課 題
こども向け講座の充実 ● うきは市民大学において、小学生向けの各種体験講座を実施し、心豊かでたくましく生きる力をもつこどもの育成を推進しています。	● 地域によって参加者数に偏りがあり、市全域でこどもと保護者に関心を持ってもらえる取組が必要です。
地域との連携 ● 市民大学の事業と地域の方の協力によるボランティアを連携させて、地域の方の能力を活かせる環境を構築しています。	● 生涯学習で学んだ成果を社会に発信する機会が十分でなく、学びを地域の活力に結び付ける仕組みづくりが必要です。
生涯学習環境の整備 ● 多様な分野の学びを支える体制が維持され、市民が身近に学習できる環境が整っています。	● 受講者のニーズに合った講座の企画や実施に課題があります。

今後の取組	指標	
● こどもや保護者が興味を持つような講座を開催するとともに、講座数を維持します。	市民大学こども未来学部講座数（講座）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	6	6
● 学びの場を提供するとともに、地域の方が能力を活かせるように調整します。	ボランティアの延べ派遣回数（回）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	1,705	2,000
● 受講生のニーズに合った講座を企画、実施して学習機会を提供します。	市民大学講座数（講座）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	58	58

5年後に目指す姿

市民一人ひとりが主体的に学び続け、発表や体験を通じて学びを社会に活かす環境を整えます。多様な学習機会を提供し、世代を超えた交流や生きがいづくりを推進することで、地域全体の教育力と活力を高めます。

1-4

BASIC GOAL 1

若者支援・次世代育成

子育てにやさしく、生きる力と郷土愛を養うまちづくり

現 状	課 題
地域活動と居場所づくり ● 地区自治協議会や関係団体等と連携し、こどもの居場所づくりを進め、安心して過ごせる地域環境づくりに取り組んでいます。	● こどもの居場所づくりを支えるボランティア等が不足し、継続性が課題となっています。
若者へのキャリア形成支援 ● プログラミング教室等を実施し、心豊かに生きる力を育む取組を進めています。	● 参加者の年齢やスキルに応じて講座や研修の指導目標と内容を整理し、開催する必要があります。
高校と連携した人材育成 ● 浮羽究真館高校等と連携し、探究学習や地域体験を通じて地域に根ざした人材育成を推進しています。	● 浮羽究真館高校を中心とした取組は進む一方、他校生徒への支援の幅が不足しています。
地域愛醸成の取組強化 ● 小中学校での学習や市民大学等の活動を通じて、地域に対する理解や愛着の醸成を図っています。	● 体験学習などで参加者が固定化し、地域に対する理解や愛着の醸成が限定的なものとなっています。



今後の取組	指標	
● こどもの居場所づくりの運営基盤を支え、日常的に安心して過ごせる環境整備を進めます。	こどもの居場所づくりに取り組む団体数（団体）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	3	5
● こどもが多様な体験を積み、自らの成長につながる事業を実施します。	こどものキャリア教育に関する講座数（講座）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	1	1
● 浮羽究真館高校を中心に、地域や企業など複数主体で外部人材を巻き込み、新たな学びの環境づくりを行います。	外部講師やメンターの人数（地域や企業等から参画した人材の延べ人数）（人）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	10	15
● 地域愛の醸成に寄与する教材の作成や体験学習の場を提供します。	「地域行事での思い出がある」と回答した割合（％）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	—	60.0

5年後に目指す姿

地域に根ざし、郷土を愛しながら心豊かにたくましく成長できる若者を育成します。すべてのこどもや若者が安心して学び、挑戦し、地域や社会に参画できる環境を整え、次世代を担う人材がうきはで夢を実現できるまちを目指します。